

上小山田町内会説明会 議事概要
(資源ごみ処理施設に関する質疑応答まで)

開催日時：2014年7月19日(土) 18時00分～20時15分

開催場所：上小山田コミュニティーセンター

参加者：38名

《次第》

1. 新たな「ごみの資源化施設」について
検討経過・資源ごみ処理施設の内容と
過去2回の説明会で出た施設に関する質問に対する回答
資源ごみ処理施設の紹介「寒川広域リサイクルセンター DVD」視聴
2. 「ごみの資源化施設」に関する質疑応答
3. 上小山田西部エリアの検討概要
 - ・小田急多摩線延伸に伴う新駅構想の状況報告について
 - ・路線バスの導入について
 - ・小山田周辺街づくりの検討について
 - ・道路整備について
4. 質疑応答

〈配布資料〉

- ・新たな「ごみの資源化施設」の建設について
- ・小田急多摩線延伸に向けた取り組みについて

2. 「ごみの資源化施設」に関する質疑応答
(市民)

- ① 今回建設するのは、プラスチック中間処理施設だと理解している。この施設は、今までにも、リサイクル文化センター・南地区・小山ヶ丘と過去3回、白紙撤回されている。今回は、これらと何がどのように違うのか聞きたい。
- ② 規制値を超えないように稼動するとの説明があったが、法規制値を超えた場合は、すぐに止めるのか。
- ③ 同様の施設として、先進市の事例が紹介されていた。その施設での、例えばVOCなど、建物内にはどんな物質があり、フィルターを通した後の空気には何もない、ということが調べられているのか。今回造る施設でも、同様のことができるのか聞きたい。

(町田市)

- ① 造る施設自体は同じだが、決めていく過程が違う。今までは、市が建設地を決めてから公表していた。今回は、自治会・町内会の代表や市民委員、事業者で構成された検討委員会を設置し、早い段階から意見交換会を開催するなど、皆様の意見を取り入れながら行なっている。

なお、プラスチックの安全性を検証しないまま作るのかという意見があり、町田市として実験を行なっている。その実験では、基準値を超えたものもあるが、原因もわかっており、規制値を守ることができる。

- ② 騒音振動には、国の規制値はある。資源ごみ処理施設に対しては、VOC に関する国の規制そのものがない。基準については地区連絡会の中で、皆様と相談して決めていきたい。

なお、その基準を超えた場合は、停止する。たとえ、機械が故障しても建物の外に漏れないように、二重三重の安全対策をとっていく。

また、測定値については、先進市でも公開している。どういう状態での運転か、町田市でも公開する予定である。

- ③ VOC (揮発性有機化合物) は、ペンキ・シンナーなどに含まれ、常温で気化して臭いがするもので、トルエン・ベンゼンなども VOC に含まれる。これらの物質の測定装置を、自治体によっては設置している。町田市では地区連絡会の中で、皆様と相談しながら、決めていきたい。

対策としては、活性炭を検討している。活性炭には、細かい穴があいており、吸着できる。外部にでる空気は、吸着後なので、きれいな空気がでる。先進市でも、測定値は公開している。

(市民)

VOC について測定するかは、これから相談して測るかどうかが決めるとの説明だったが、これは要望があれば測るということか。

(町田市)

そうではない。項目としては全て計る。

(市民)

私は、圧縮実験に参加させていただいている。その実験は、屋外で行なっていた。プラスチックは、いろんなものが混ざり合い、名前がつかないものも出ると聞いている。それを考えると、密閉された空間で、圧縮をし、フィルターを通した結果、何も出ていないとわかるような、実験をしてほしい。

(町田市)

名前がないものについて、分析方法がない。

(市民)

計測結果が山のように表されている図書を見たことがある。その山とは、特定できないものだが、何かが出てきていることを示すとのことだった。

(町田市)

名前がまだ決まっていないものとは、トルエン・キシレンなど名前が付いたものがくつき合ってきたものことだと思う。名前が付いたものについては、測定の方法はある。

除去方法としては、手選別するところを囲い、脱臭系統に持っていく方法となる。ただし、名前がついていないものについて、今の段階では全て把握することは難しい。

(市民)

① 規制値が瞬時でも超えた場合でも、止めるのか。

② 測定する場所はどこなのか。また、いつ測るのか。例えば騒音で、45db 超えたら、すぐに止めるのか。測る場所によって、値も変わってしまう。

臭気指数は、人間の感覚によるもの。いい匂いのものは、臭気指数が高くてもいいと感じる。悪いものは、その逆である。

③ 先進市の事例でも、建物には換気や窓やシャッターがついていた。騒音・振動・臭気についても密閉するといっても、外部に絶対漏れると思う。

(町田市)

① 振動が少なく、また低騒音型の機械・システムを導入する予定であり、外に漏れることはない。現時点では、瞬時に止めることは考えていない。

地区連絡会で相談しながら決めていきたい。

② 国の規制値の測定場所は、敷地境界で行なうこととなっている。ただし、プラントの稼働状況などを配慮しながら、例えば脱臭棟のそばで計測するなど、皆様と相談しながら配慮していきたい。

③ 建物は負圧、中側に空気を引っ張る構造にする。車が入ってくる時も、負圧なので、外に漏れない。

(市民)

負圧にするとのことだが、あの規模で本当にできるのか。完全な密閉型にするのか。

(町田市)

あの空間全部を取り除くとなると、巨大なファンが必要になる。臭いが出る場所は想定できるものであり、そこから、スポット的に取り除く。

それ以外の場所についても、測定し、シミュレーションすることになるが、基準を超えないような配慮をする。敷地境界で測定しても問題ないようにするし、車の出入りでも漏れないようにもするし、匂いの発生源からはスポット的に脱臭していく。

なお、窓やシャッターは、中で作業するためにも、明かり取りとして必要なものである。最大限配慮していくとは、安全性・国の基準を遵守することを優先して、なおかつ作業環境に配慮していくということである。

具体的には、地区連絡会で検討していく。

(市民)

技術的なものについては、一般の会社が行なうものではなく、行政が行なうものであることから、しっかりとやってほしい。

2020年度稼働という目標には、2018年度工事開始。その前に、少なくとも、2年前に道も作らなければならない。最終的にこれらを進めると判断するのは、地元の了解を得て、何ができたら進めると判断することになるのか。

(町田市)

道路は資源化施設のために作るものではない。資源化施設への同意とは別に、道路の整備は進んでいくものである。

(市民)

資源化施設の同意が得られなくても、道路だけは最終的に造るという理解でよいのか。

(町田市)

そうです。

なお、資源化施設について進めると判断したタイミングとは、地区連絡会が始まったときだと考えている。

(市民)

判断とは、そういうことではない。

どういう形で住民の理解が得た時点で建設を始めるのか、得られなくても市は建設するのか。例えば、反対意見がどの程度減ったら建設するのか、目安は持っているのか。

(町田市)

操業してはじめて解消できる反対の意見もある。建設についてのものは、このような席や

地区連絡会で討議して、解決していきたい。100%理解を得られた時点で始めたいとは思っているが、このような機会を設けて、理解を得ていくしかないと考えている。住民の意見をたくさん吸い上げていくなかで、建設を始めることになる。

(市民)

- ① 忠生 579 号線が 2020 年度までに作るという説明が 7/12 にあった。そこでは、南大沢から着手するとのことだった。そうすると、バス折り返し場まで作るのはどうでもよくて、資源化施設まで作ればよいという魂胆が見える。
- ② 臭いのことについて、八王子市南大沢の施設を見学したが、すごい臭いがつく。このような状況だが、負圧とは何ヘクトパスカル下げるのか。本当に活性炭だけで処理できるのか。八王子市の施設でも、活性炭をやってもだめになり、次に浄水を使うなど検討はしたようであるが、うまくいっていない。
- ③ 測定機械は、ガスクロマトグラフなどを使うのか。それには通常、通信装置がついているので、リアルタイムに表示することができる。いつ、どんな物質が出たのか、すぐにわかる。測定のピークがいくつも出ても、平均値の取り方によっては、値が変化してしまう。それなのに、平均値をとるか・瞬時をとるのかなど議論にならない。
機械というセンサーで測るものと、人間の感じ方とは違う。いやなものは、臭気指数が 0.001 でもいやだと感じる。いいものは 10 でも、いいと感じる。そのあたりの判断はどうするのか

(町田市)

- ② 八王子市にある施設は、家庭から出る生ごみを、空気をいれて発酵させて堆肥化させる施設。町田市は、びん・かん・容器包装プラスチックなど、発酵がない施設である。生ごみを取り扱わないものである。
発酵させることにより、いやなものと感じられるアンモニアなどが出てしまう。八王子市にある施設では、室内の湿度が高い状況となっており、活性炭がすぐにもろくなってしまいう状態だった。
町田市は、水を加えることはなく、発酵がない施設なので、活性炭で十分に対応できる。
- ③ 臭いについて、リアルタイムでお知らせするかは、これから検討していく。
臭気指数とは「人が直接においをおいで判断するものである。ガスクロマトグラフと人の感じ方は違うので、臭気指数を基準に、ガスクロマトグラフで出した値とを比較しながら、地区連絡会にて、もっとも最適なところを検討したいと考えている。
- ① 道路については、この後説明する。

(市民)

① 不公平感のことで、説明にはなっていないかもとのことでの説明があったが、全く説明にはなっていない。谷戸であるとか、アクセスのこととか、施設が集中しているとか、抜き差しがたい不公平感がある。

それなのに、アクセス道路について、予算をとって測量すると市長から伝えられているが、測量予算がなくなったと聞いた。

こんなことは、市長が、市長選目当てのいい加減なことをしたのではと感じている。

なぜ、測量予算がなくなったのか、いきさつを説明してほしい。

② 先進市は立派な運搬車を使用している。町田市は、トラックにかごを山積みにしており、いつ崩れてもおかしくない状況である。施設が新しくなった際には、全て立派な車に置き換える前提で、計画しているのか。

③ 周辺の図面には、我々が要求してきたレクリエーション施設・公園が描かれていないが、別途検討するということなのか。

④ さきほど、わかっている物質がくっついて、わからないものが発生するかもしれないという説明があった。これについては、実績が既にある施設を作る・後進自治体である町田市としては、特定する努力をすべきではないか。わからないものがあるなどと、発言することはまずい。

(町田市)

① 道路の件については、これから説明する。なお、予算は消えていない。

② 運搬車両の安全性については、これ以上積まない・安全性を徹底することなどを、周知してはいる。今後は、今1箇所しかない施設が、相原と上小山田西部の2箇所に分散化されることから、運搬方法を含めた適切な運営の検討を行なう。

なお、容器包装プラスチックについては、軽いものなのでパッカー車で収集できるが、びん・カンについては圧力をかけるために割れてしまうため、パッカー車は使用できない。

③ 公園などの施設は、これから地区連絡会のなかで検討していく。現段階では、具体的には考えていない。

④ 化合物について、取り除く努力をしていきたいと考えているが、具体的にどうすべきか現段階では決まっていない。説明の仕方・話し方により、不信感をもたれてしまったものだと思うが、これについては確実に、どういうふうになれば除去できるのか、検討していく予定である。